同志社女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士課程(前期) 履修モデル

1. 看護学研究分野

看護学研究分野では、「共通科目」の履修をとおして、看護学研究や実践を支える基礎的理論、研究手法を修得し、研究倫理に関する理解を深めるとともに、「専門科目」である「看護学研究科目」を履修することにより、生涯発達の視点で対象及び家族、健康に関する諸制度と看護の関係をそれぞれ理解することにより、様々な健康状態にある対象への看護上の課題に取り組む。そこで明確になった研究課題について、研究計画の立案からデータの収集、解析等を経て、「特別研究」で修士論文を作成する。

3) 看護系大学での教育・研究者を目指し、広域看護学領域を主たる研究分野とした学生の場合

(1) 入学までのプロセス

大学看護学部を卒業後、学部での卒業研究をさらに深めたいという希望があり、保健・医療看護の現場経験を经ずに大学院に進学した。将来的に教育・研究者として大学教員になることを志望しており、博士課程(前期)修了後には、数年間の現場経験を踏んでから、博士課程(後期)への進学も考えている。

(2) 科目選択

①共通科目 (必修8単位, 選択4単位 計12単位)

看護学研究特論, 看護研究方法論, 理論看護特論, 看護倫理特論, 看護教育特論, 健康科学特論

②看護学専門科目 (広域看護学領域 選択10単位)

高齢者・在宅看護学特論 I, 高齢者・在宅看護学特論 II, 成人看護学特論 I, 看護学演習

③特別研究 (選択8単位)

特別研究

(3) 修士論文テーマ 「在宅要介護高齢者のQOL向上を目指した多職種連携による支援」

(4) 修了後の進路

修了後、総合病院内科系病棟勤務を経て、訪問看護ステーションで訪問看護師として就職。その後、大学院博士課程(後期)に進学。博士の学位取得後、看護系大学助教として就職。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		履修年次	
			必修	選択	1年生	2年生
共通科目	看護学研究特論	1春	2		○	
	看護研究方法論	1秋	2		○	
	科学英語論文クリティーク	1春	2			
	理論看護特論	1春	2		○	
	看護倫理特論	1春	2		○	
	看護教育特論	1春	2		○	
	看護管理特論	1秋	2			
	健康科学特論	1春	2		○	
	小計(8科目)	—	8	8	12	
看護学研究科目	臨床看護学	成人看護学特論 I	1春	2	○	
	成人看護学特論 II	1秋	2			
	ウイメンズヘルス特論 I	1春	2			
	ウイメンズヘルス特論 II	1秋	2			
	広域看護学	高齢者・在宅看護学特論 I	1春	2	○	
	高齢者・在宅看護学特論 II	1秋	2		○	
	公衆衛生看護学特論 I	1春	2			
	公衆衛生看護学特論 II	1秋	2			
	看護学演習	1秋	4		○	
小計(9科目)	—	20	10			
専門科目	基礎科目	助産学概論	1春	2		
		リプロダクティブヘルス論	1春	2		
		ペアレンティング援助論	1春	2		
		妊娠期助産診断技術学	1春	2		
		分娩期助産診断技術学	1秋	2		
		産褥・新生児期助産診断技術学	1春	2		
		助産診断技術学演習	1通	2		
		地域母子保健論	1秋	1		
		助産マネジメント論	1秋	2		
		助産学実習 I	1春	2		
		助産学実習 II	1秋	7		
		助産学実習 III	2通	2		
	小計(12科目)	—	28			
	発展科目	赤ちゃん学特論	1秋・2秋	2		
		国際母子保健論	1秋・2秋	1		
		統合ヘルスクエア論	1秋	1		
		遺伝カウンセリング論	1秋・2秋	1		
		リプロダクティブヘルス演習	2春	1		
		高次助産診断技術学演習	2通	1		
		助産学実習 IV	2春	2		
助産学実習 V		2秋	2			
小計(8科目)	—	11				
特別研究	特別研究	2通	8		○	
	課題研究	2通	4			
	小計(2科目)	—	12		8	
合計(39科目)		—	8	79	30	